

記念講演「NHKが危ない」～公共放送とは何か～」について

2015年7月26日

結成総会終了後、同じ会場(名古屋市教育館)で記念講演会が開かれました。

講師は元NHK名古屋放送局副局長・初代BPO専務理事・現映倫委員長の大本圭之介さんです。参加者は会場いっぱいの93名でした。

大木さんは、自民党の文化芸術懇話会での発言「沖縄の両新聞を潰せ」をめぐってのNHKニュースを例に挙げて、最近のニュース報道について話されました。公共放送のトップに不適格な靱井会長、その周辺職制達の会長を慮(おもんばかり)姿勢、それが現場にじわじわと影響を与えている。政権党の本部で“安倍応援団”達が、政策的に世論を誘導するとか、メディアを黙らせるとか、まるでヒットラーを想起させる、「背筋が凍るような」話が進行している。しかし、日本のジャーナリズムは反対一色ではない。安保法案採決を当然とするメディアもあり両極端に分かれている。政治とメディアの状況は講演タイトルの「NHKが危ない」というより「日本が危ない」の方がぴったりする、と話されました。

続いて靱井会長選任の過程を話されたあと、その後不的確が明らかになったのに罷免動議を出さない経営委員会は、最大の役割を放棄していると批判されました。

次はNHKと政治の関係です。自民党からの圧力、世論のテレビ批判をきっかけにして政権はテレビ局の規制をしばしば行ってきたこと、これに対して法規制は勘弁してくれと自主規制組織BRO～BPOをつくったこと、政治的公平の問題、健全な民主主義とは、と続けられ、最後に当会への要望として、ローカル局は何をすべきか、どうやって自分達のメディアにしていくか、といった視点から考えてほしい、と締めくくられました。

なお、講演内容はDVDに収めてあります。ご希望の方は当会の事務局までご連絡ください。1枚500円ですが郵送の場合は140円が別途必要です。